

令和2年11月30日

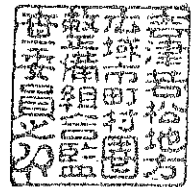
会津若松地方広域市町村圏整備組合

管理者 室 井 照 平 様

会津若松地方広域市町村圏整備組合

監査委員 渡 部 啓 二

監査委員 菅 沼 弘 志



定期監査の結果について（報告）

下記のとおり会津若松地方広域市町村圏整備組合監査基準に準拠して定期監査を行ったので、地方自治法第199条第9項の規定によりその結果を報告します。

記

1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査

2 監査の対象

会津若松地方広域市町村圏整備組合

3 監査対象期間 令和元年度事務執行分

4 監査の着眼点

全国都市監査委員会が定める「監査等の着眼点」の「第1 財務事務監査の着眼点」、「第2 経営に係る事業管理監査の着眼点」、「第3 工事監査等の着眼点」等に基づき、財務事務の正確性及び合規性、経営に係る管理の経済性、効率性及び

有効性、工事の適正性等について、監査を実施した。

5 監査実施内容

関係資料の提出を求め、当該資料の精査により更なる調査、精査を必要とする調査事項を選定した上で、当該事項を中心に所属長の出席を求め、監査委員による対面監査において、説明を聴取した。

6 監査の実施場所及び日程

書類審査 監査事務局内 令和2年5月8日～同年9月25日

対面監査 会津若松市役所河東支所3階会議室

令和2年9月28日

7 監査の結果

事務の執行について、上記の着眼点により監査を実施した結果、おおむね適正な事務処理がなされていた。なお、事務処理上留意すべき軽微な点等については、別途措置を促した。

(1) 所見

下記のとおり意見を付すべき事項が認められたので、事務事業の遂行に当たって留意されたい。

○焼却炉内等清掃業務委託における指名競争入札の結果について

本組合の当該業務に係る指名競争入札については、過去5年間、指名を受けている事業者の殆どが、同様又は同系列の事業者となっていることに加え、この間、毎回入札に参加しているのが、落札事業者の「有限会社環境メンド」と施設の管理業務を受託している「テスコ株式会社」の2社のみであ

り、それ以外の事業者は、毎回「辞退」という状況が続いている。

本来、指名競争入札は、発注者側が一定の資力や技術、実績等を有する事業者を指名し、競い合わせることで、より費用対効果の高い発注を行うことを目的としている。当該業務での指名競争入札においては、毎回、辞退しながらも同一の事業者が指名される状況が続いており、同等業務で本組合に登録している他の事業者がいることを考慮すれば、競争性のもとより、公平性においても十分な精査を以って担保されてきたとは言い難い。

今般の対面監査においては、本組合より、専門性の高い当該業務を受注できる事業者が限定されている旨の説明があったところであり、監査委員としても、業務の特異性により事業者の選定に苦慮している状況は十分に理解しているところである。しかしながら、その上でもなお、公共事業であることの重要性を鑑みれば、その発注に係る事業者の選定や入札方法については、調査・研究の余地があったものと言わざるを得ない。

今後は管内及び準管内も含めて、現在本組合に登録している事業者の業務能力の再調査や新たな登録事業者の拡充に加え、他団体等の状況調査を進め、同様のケースにおける発注方法など、参考となる事例の研究についても努められたい。